

自主防災組織

災害に強い地域をつくりませんか？

町では、「自分たちの地域は自分たちで守る（自助・共助）」という意識のもと、地域住民によって任意に結成された「自主防災組織」の育成などに取り組んでいます。

現在、町内には17の自主防災組織が結成されていますが、より多くの組織の結成が望まれます。

町では、自主防災組織を新たに結成する際に必要な資機材費用40万円の補助を行っています。

Q1 「自主防災組織」とは？

災害発生時はもちろん、日ごろから地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」と言います。

平常時には防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出・救護、集団避難、避難所への給食・給水などの活動を行います。



Q2 なぜ、「自主防災組織」が必要？

大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは十分な対応ができない可能性があります。

このような時、地域の皆さん協力し合い、災害や避難に関する情報の伝達、避難誘導、安否確認、救出・救護活動に取り組むことで被害の軽減を図ることができます。また、活動を迅速に進めるためには「お互いに顔の見える関係」の中で、事前に地域内で役割を決めておくことが有効です。

より効率よく、さまざまな活動をするためにも事前の準備（体制づくり）が重要です。

平常時と災害時の活動内容は次のようなものです。

平常時の活動

- 防災に対する心構えの啓発
- 災害発生の未然防止のための地域活動
- 災害に備えて地域を知るために活動
(避難場所や避難経路の把握など)
- 災害発生時の活動を習得するための活動
(消火、避難などの訓練)
- 災害発生時の活動に備えるための活動
(資機材や備蓄品の管理など)



災害時の活動

- 情報収集伝達活動
(被害情報等の収集や伝達、救援活動状況の周知)
- 初期消火活動
(消火器、可搬式ポンプ等による消火活動など)
- 避難誘導活動
(避難所までの誘導や介護が必要な人への援助など)
- 救出・救護活動 (負傷者救護など)
- 給食・給水活動
(備蓄品、救援物資の避難所への運搬・分配)

防災情報配信システム(SOSネットワーク)の登録を募集しています

町では、防災情報配信システムにより、個人のパソコンや携帯電話に、防災情報や気象情報、防犯情報などを配信しています。7月1日現在、登録者数は2,185人です。安全・安心を確保するための有効な伝達手段の一つとして「防災情報配信システム」への登録をお願いします。

詳しくは、登録サイト・町ホームページをご覧ください。

パソコン用登録サイト

<https://service.sugumail.com/takanabe/member/>

携帯電話用登録サイト

<https://service.sugumail.com/takanabe/>

高鍋町ホームページ

<http://www.town.takanabe.miayaki.jp/>



◀ このQRコードで登録
画面へアクセスできます。

【取材を終えて】
防災組織など、品用命を准備するため、避難所の訓練生の参・活・避難を経て、改めて避難認めたための訓練を行ったところ、この訓練が実際の災害時に役立つことを実感しました。この経験を通じて、自分たちが何をすべきか、どう行動すればいいのか、何を準備すればいいのか、などが明確になりました。

【義援金】
熊本地震後、前から購入しなければと思っていた防災グッズを購入しました。自宅の玄関横にある倉庫に入れました。これが持つて逃げるような心の余裕があるのだ

【救援物資】
熊本県上益城郡御船町および熊本県阿蘇郡西原村へ非常食や飲料水、紙おむつ、粉ミルクなどを輸送しました。

【皆様のご支援・ご協力ありがとうございました】
甚大な被害を受けた熊本県を支援するため、地震発生直後から災害支援金や救援物資の受付を行いました。

皆様のご支援・ご協力、ありがとうございました

よ／＼へ／＼高鍋町へ

松本さん夫婦は、二人とも町外の出身です。町外出身のお二人が高鍋町に移住しようと思つたきっかけや住んでからの方感想をうかがいました。



～松本さん一家～

父：修司さん 母：美穂さん

長女：優ちゃん（小5） 次女：雪菜ちゃん（小8）

修司さんは宮崎市、美穂さんは延岡市の出身。

8年前に宮崎市から高鍋町へ移住しています。

松本さん一家は、以前は宮崎市に住んでいました。

5年ほど前に定住先を求め、マイホーム建設のためにあわらこから土地を探してみましたが、なかなか思うような物件に出会えませんでした。そこで、ご主人の勤務先である高鍋町で土地を探すことにしました。

Q どうして高鍋町を選んだのですか？

修司…高鍋町に勤務先が変わつてから気付いたのですが、スイ

パーや公共施設、病院などがコンパクトにまとまつていて、住むのに便利など、ふだんなどと思いました。

美穂…主人の実家がある宮崎市と私の実家がある延岡市のちょうど中間の町といつのも選んだ理由の一つです。

Q 高鍋町に住むことに不安はありませんでしたか？

修司…一番心配していたことは、子どものことです。新しい

環境になじむか不安でした。宮崎市内だと私の親が来るとき2時間程度かかるっていましたが、高鍋だと両方の親が1時間程度で来られるので、例えば子どもの具合が悪く看病をお願いしたいときも、両方にお願いできる距離になつたので、逆に不安がなくなりました。

近所に子どもがいる家族が多く、仲良く楽しく移住生活ができるという松本さん。地域に以前から住んでいる方からも「子どもたちの元気な声が聞けてうれしい」と温かく見守つていただいています

Q 高鍋町に住んでよかったです？

美穂…子どもたちがよくあいあつ

をするし、横断歩道を渡つて、とつていろとさに車で止まるとい渡つた後に振り返つて、礼する礼儀正しいと驚きました。子どもを見ての環境としていいなと思います。

Q 学校は楽しいですか？

優…私はピアノを弾いたり、歌を

歌つことが好きなので、学校で合唱部に入っています。あと、今年からスポーツ少年団でバレーを始めました。近所の友達と一緒に練習でもて楽しいです。

雪菜…私は学校では算数の勉強が

好きです。そして、体を動かすことが大好きなので、夏休みは友達と一緒に遊ぶことが楽しめます。私もお姉ちゃんと一緒に少年団に入ったので、バレーボーも頑張りたいです。

「お試し滞在住宅」で

高鍋町の生活を体験

町では、人口減少を防ぐとともに、活力あるまちづくりの創出に向け、さまざまな取り組みを進めています。その取り組みの中の一つかが、「移住・定住の促進」です。

7月からは、本町への移住を考えている方を対象に、「定期間、町内で生活ができる「お試し滞在住宅」を開設しました。最大3カ月利用が可能なため、本町での生活を体験しながら、新たな仕事や住居を探すこともできます。

「高鍋町に住んでみたい」という話を聞かれたときは、ぜひ、住宅の紹介をお願いします！

○利用申込	利用開始希望日の1カ月前までに申込書を提出。
○利用期間	5日以上3カ月以内。

○住宅
木造平屋建て
2LDK
和室6畳×2
リビング10畳

○利用料
お試し滞在住宅に係る利用料および滞在中の光熱水費は無料です。その他、日常生活に係る費用は利用者負担です。

○利用料
お試し滞在住宅に係る利用料および滞在中の光熱水費は無料です。その他の日常生活に係る費用は利用者負担です。



もうご覧になりましたか… きょうフフフっ 高鍋町

移住を考える全国の人たちに、ホラー調で町の魅力を紹介するPR動画が完成し、4月から町ホームページで公開しています。

PR動画は全部で8本。タイトルが「海で遭遇…海上人体横移動の謎」「現代に上がるのろしの謎」「謎の包丁集団の謎」など、町の観光名所や農産物、教育などをおどろおどろしい雰囲気で紹介しています。途中で謎の正体は明かされますが、「この怪現象は、何につながるの!?!?」とドキドキしながら怖いもの見たさ



で話に引き込まれます。

また、毎回登場する「謎の着物の男」の正体も気になるところです。

PR用に制作された動画ですが、私たちのよく知る風景がこのように紹介されているのかと、町民でも楽しく見ることができます。

閲覧回数は6月末現在で1,900回を超えるました。
「まだ、見ていない」という方は、ぜひ、町ホームページからバナーをクリックしてみてください！

町の魅力を再発見 移住した人たちから見る高鍋町を紹介

本町に移住して来られた方に、どのようなことをきっかけに移住してきたのか、また本町での日々の生活の様子などを紹介した小冊子「自分日和」がこのほど完成し、町役場や県外の県関係施設で配布を行っています。

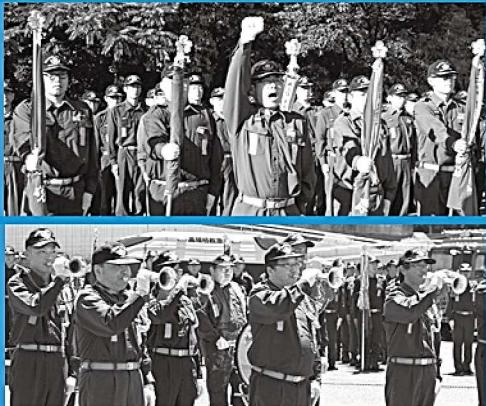
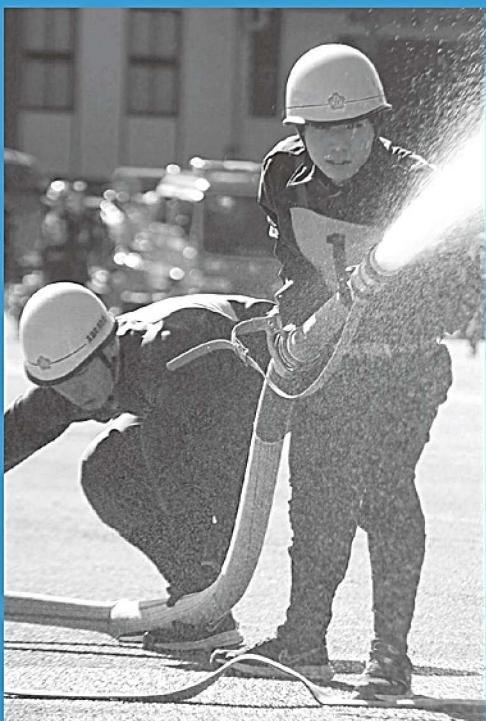
冊子には、県外から本町に移住してきた3家族を紹介し、移住した人たちから見た本町の魅力などを紹介しています。このほか、まちのキーマンたちが登場したり、四季のイベントを紹介しています。

本町の魅力を再発見できる「自分日和」。町ホームページのバナーをクリックすると、電子書籍の閲覧ができるほか、移住者の生活の様子を動画で見ることもできます。ぜひ、ご覧ください。



冊子で紹介しきれない
本町の魅力を
写真や動画で紹介しています。

◆移住定住に関するお問い合わせ 政策推進課 総合政策係 TEL：26-2018



第63回高鍋町消防操法大会

6月26日、高鍋町スポーツセンター駐車場で高鍋町消防操法大会が行われました。

町民の生命と財産を守るために、安全、確実、迅速な消火活動を目指し、団員一丸となって訓練を重ね、その成果を競いました。

梅雨時期とは思えぬほど晴天に恵まれた大会当日、団員たちは絶好のコンディションの中、数ヶ月間にわたり懸命に訓練してきた成果を発揮し、気迫に満ちた操法を披露しました。

優勝した各部は、7月16日に行われた東児湯支部大会での優勝を目指し、さらに訓練に励みました。

◎ポンプ自動車の部

優勝 第3部

指揮者 日野 靖徳
1番員 小田 正剛
2番員 中庭 健斗
3番員 山内 和樹
4番員 江藤 真志

第2位 第1部



◎小型ポンプの部

優勝 第2部

指揮者 東川 泰明
1番員 有村 真樹
2番員 坂 敬章
3番員 藤田 賢誠

第2位 第10部



◎小型ポンプ積載車の部

優勝 第13部

指揮者 柳田 武
1番員 松木 祐樹
2番員 岩坂 美男
3番員 黒木 大輔

第2位 第11部

